

1. 「あなたの行く所どこにおいても、主を認めよ（主の御支配を認めよ）。
そうすれば、主はあなたの道をまっすぐにされる。
自分を知恵のある者と思うな（高ぶるな）。
主を恐れて（主を恐れ敬い）、悪（主の喜ばれない罪）から離れよ。
それはあなたのからだを健康にし、
あなたの骨に元気をつける。
あなたの財産とすべての収穫（入金、給与、ボーナス、お小遣い他）の初物で、
主をあがめよ（収入が神から与えられた神のものである10分の1をまず神に感謝してさ
さげよ）。
そうすれば、あなたの倉は豊かに満たされ、
あなたの酒ぶねはあたらしいぶどう酒であふれる」 箴言3：5－10

2. 「見よ。わたしは新しい事をする。
今、もうそれが起ころうとしている。
あなたがたは、それを知らないのか。
確かに、わたしは荒野に道を、
荒地に川を設ける」 イザヤ43：19。
今年は牧会者の交代の年。神は新しい事をなさり、祝福される。主を見上げて祈りましょう。
個人的にも、教会全体でも！

3. 「わたしはあなたがたのために立てている計画を良く知っているからだ。
－主の御告げ－それはわざわざではなくて、平安を与える計画であり、あなたがたに将来
と希望を与えるためのものだ」 エレミヤ29：11。
個人的にも教会全体にも。

4. あわてず、あせらず、あきらめないで祈る。
「熱心だけで知識のないのはよくない。急ぎ足の者はつますく」 箴言19：2
「主が来られるまでは、何についても、先走ったさばきをしてはいけません」

I コリント4：5

今年も、色々な事が起こる事でしょう。
色々な事が自分に起こって来る度に、神のみもとに、それを持って行く事を学ばなければなら
ない。
神よりも先走ろうとしてはならない。
あわて、あせり、あきらめてはならない。

神から目を離し、神抜きで、自分だけで将来を先走って考え込んではいけません。

一日一日を神と共に生きよう。

来る日毎に、神にお従いする歩みをしよう。神が、その日その日にするように命じられる事を判断して歩めるように祈りたい。

今年、一日一日、一つ一つの問題に、神に祈りつつ対処する事を学べますように。

神の先を走るのではなく、神と歩調を合わせ、神と共に歩めますように。

その為には、毎日、神の御言葉を読み味わい、神との交わりが欠かせない。

また毎週の主日、安息日の礼拝を大切にし、神を賛美し、礼拝メッセージで神の御心を知り続けたい。

また主を中心とした御言葉の分かち合い、祈り合いを大切にしたい。

5. 試練の中での励ましの御言葉

「あなたがたの会った試練はみな人の知らないものではありません。神は真実な方ですから、あなたがたを、耐えられないほどの試練に合わせることはなさいません。むしろ、耐えられるように、試練とともに脱出の道も備えてくださいます」 I コリント10：13。

脱出の道とは、

- ①試練に耐える力が与えられる道、
- ②全能の主が共にいて下さる道、
- ③主が助けを備えて下さる道。

試練だけが与えられる事はない。試練と共に主の恵み、主の励まし、主の慰めがあり、試練と共に最高の、素晴らしい主が共におられる。

6. 力強い御言葉

「恐れるな。わたしはあなたとともにいる。

たじろぐな。わたしがあなたの神だから。

わたしはあなたを強め、あなたを助け、

わたしの義（勝利、救いとも訳せる）の右（権威、威力※イエスは「十字架を忍び、神の御座の右（権威ある座）に着座されました」ヘブル12：2）の手で、あなたを守る」

イザヤ41：10。

7. 苦しみ、試練をも益として下さる神

「神を愛する人々、すなわち、神の御計画に従って召された人々のためには、神がすべてのこと（苦しみや試練や失敗を含む）を働かせて益（霊的な目が覚まされる、悔い改め、神に立ち返る、へりくだり、神に近づく、神を深く知る、神の聖さ、主の品性に変えられる、人への深い思いやり、神の最善のご計画の前進）としてくださることを、私たちは知っています」 ローマ8：28

8. 悩みから主に心を向けさせる御言葉。

「信仰の創始者であり、完成者であるイエスから目を離さないでいなさい。イエスは、ご自分の前に置かれた喜びのゆえに、はずかしめをものともせず十字架を忍び、神の御座の右に着座されました」 ヘブル12：2

9. 今年も、神のご支配の中で、私達の身に色々な事が起こるだろう。

「雀の一羽でさえ、あなたがたの父の許しなしに地に落ちることはありません」

マタイ10：29。

父なる神の許し、御支配なしには、私達の身に何も起きない。

試練や苦しみに、すべての支配者なる神のご計画、意味がある。

①私達に、神の恵みが流れてくる管を詰まらせている罪があることに気づかせ、悔い改めと神への立ち返りを与えて下さる。

②全知全能の神の思い・ご計画と、知識・理解に限界がある私達の思い・願いとは違う事も自覚しておきたい。

「わたしの思いは、あなたがたの思いと異なり、
あなたがたの道は、わたしの道と異なるからだ。

一主のことば一

天が地よりも高いように、

わたしの道は、あなたがたの道よりも高く、

わたしの思いは、あなたがたの思いよりも高い（私達の最善をなさる尊い思い）」

イザヤ55：8-9

10. 主の恵みを数え主をほめたたえ、主と人に感謝する1年。

「主が良くしてくださったことを何一つ忘れるな」 詩篇103：2。

「何も思い煩わないで、あらゆる場合に、感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの願い事を神に知っていただきなさい」 ペリピ4：6。

「感謝の心を持つ人になりなさい」 コロサイ3：15。

神への感謝は、神を喜ばせ、自分の心に喜びが増し、人々に喜びを与え、良き証しとなる。